

○議長（堀内春美さん）

それでは、通告10番、11番 鮫田洋平君の一般質問を行います。

11番 鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

休憩が入ると思ったんですけど、続けてやるということで、やっていきたいと思います。現庁舎での議会が今回で最後となり、最後の一般質問となります。10番目で皆さんお疲れと思いますが最後までよろしく願いいたします。いよいよ、新庁舎の供用が開始されます。新庁舎については、現本庁舎の解体工事後の駐車場整備にあわせて、現在のATMの位置に自転車置き場が設置され、それを利用してマンホール直結の災害用トイレが設置されます。これは、全員協議会や直接担当課に行き、防災対策として質問、要望した内容で、それが実現することになり、大変うれしく思います。また、防災面では非常用発電設備の設置や、構造体強度の割り増しなど、災害時の防災拠点としての機能を備え、さらに、環境対策では、エネルギー消費量や二酸化炭素の排出を大幅に削減し、国が定める省エネ基準で最高ランクの5つ星として認証されるなど、県内の公共施設の中でもトップクラスの省エネ性能を誇る庁舎となりました。このことは、国が進める脱炭素社会の実現に寄与することはもちろん、将来にわたり、建物の維持管理費の削減につながることを期待できます。先月16日には、我々議員を対象とした見学会が行われました。内部は、各課の配置もわかりやすく、会議室なども使いやすく、費用面や機能面が両立した、非常にバランスのとれた建物であるとの感想を持ちました。コスト面でも最大限の努力をしていただき高い評価をしているところであります。設計や建設に携わった方々の工夫やご苦勞が伺えました。このように防災、環境両面で優れた建物が、来週にはプレオープンしますが、来年度のグランドオープンを心待ちにしているところであります。

それでは、今回は大きく3点について質問していきます。簡潔に解りやすい答弁をお願いいたします。それでは、質問事項1電気自動車（EV車）導入について質問させていただきます。（1）先月15日の朝日新聞にも掲載がありましたが、全国的にも公用車へのEV化が進んできております。新庁舎にEV車の急速充電器、充電スタンドが設置されると聞いておりますが、現在、当町の公用車はEV車が1台もない状況です。環境の町をPRするためにも率先してEV車の導入をすべきと考えますが当局の考えをお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

管財課長 渡辺成昭君。

○管財課長（渡辺成昭君）

ただいまの質問にお答えいたします。公用車につきましては、消防車、スク

ールバスなどを含め、84台管理しておりますが、EV電気自動車はございません。その中で、第2期富士川町役場環境保全率先行動計画では、温室効果ガス排出量の削減を目的に、ガソリンや軽油の化石燃料の削減に努め、公用車の保有台数の削減を図って来たところでもあります。こうした中、環境に優しいZEB庁舎が開庁し、多くの公用車が、新庁舎に集まります。こうしたことから、環境の町富士川をZEB庁舎とともに、更なるPRを図るため、環境負荷の少ない電気自動車やハイブリッド車の積極的な導入を念頭に、公用車の入れ替え計画の見直しに、反映させていきたいと考えております。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

導入に向けて前向きな答弁をいただきました。各メーカーから多くの車種のEV車が発売されておりますので、車種の選定など慎重に進めて頂きたいと思います。

次の（2）の質問に移ります。（2）EV車は大変高額となっているため一般家庭への普及には、まだまだ時間がかかると考えます。購入する際、現在、国には購入補助があります。また、併せて各自治体の補助との併用もできると聞いております。全国的には独自施策で補助を出している自治体は少なく、県内でも甲府市など数か所の自治体でしか補助がありません。そこで環境の町、富士川町でも全国に先駆けて、町民に購入費補助ができないか当局の考えをお伺いします。

○議長（堀内春美さん）

町民生活課長 一之瀬三千さん。

○町民生活課長（一之瀬三千さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。近年、電気自動車は温室効果ガスの排出量削減やエネルギー問題に大きな変化をもたらすものとして関心が高まっています。しかし、日本自動車販売協会連合会が発表した、令和3年の乗用車燃料別販売台数によると、ガソリン車が49.3%、ハイブリッド車が42.8%と、約92%を占め、関心の高まりとは相反し、電気自動車は0.9%の低い水準となっています。この要因として、電気自動車の購入費が高額であること、航続距離が短いなど、様々なことが考えられます。現在、国では電気自動車の普及推進のため、購入費補助を行っています。こうしたことから、町においても、クリーンエネルギー自動車の利用によって、地球温暖化や大気汚染の原因となる、自動車排出ガスの低減にもつながるため、今後、地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定していくなかで、補助金のあり方についても検討して参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

検討していくという前向きな答弁をいただきましたので、ゼロカーボン社会の実現を目指し、早い段階での制度の導入に向けて検討していただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

それでは、質問事項2道の駅富士川の観光施策についての質問に移ります。

(1) 昨年10月に道の駅2階の展示スペースをお借りして、実行委員として石材アート展を開催しました。開催期間が1週間あり、その際、協賛イベントとして、2階テラスにて、いしいそうたろうさんにMCを務めていただいて、よさこいの演舞や太鼓の演奏をしていただきました。大変大盛況でした。昨年の10月発行の議会だより46号の表紙がその時の写真です。道の駅の職員にお聞きしたところ2階テラスでのイベントは初めてという事でした。2階テラスがもっと広ければ利用頻度や幅広い活用ができると考えます。イベントだけでなく、多くの方が利用している道の駅です。今以上に道の駅を楽しんでいただけたと思います。道の駅オープン当初から感じていたことですが、道の駅富士川の2階テラスを拡大する事ができないか当局の考えをお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。道の駅富士川の2階テラスにつきましては、構造上、拡大することが可能であるかの調査が必要となります。今後、調査の結果を踏まえ、テラスのあり方については、検討をして参ります。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

調査をしないと設置が可能かどうかわからないということですので、構造上の調査をしっかりしていただき、設置が可能であれば株式会社富士川と一緒にテラスのあり方などについて前向きに検討していただきたいと思います。

次の(2)の質問に移ります。平成23年12月議会で、現長澤健県議会議員も同様の質問をしていましたが、11年前ということで状況も変わっておりますので質問させていただきます。昨年、中部横断自動車道も双葉、新清水間が全線開通となり、静岡方面からの旅行者はネクスコのパーキングを利用して道の駅への利用者が増加しました。全国的にも犬を連れての旅行者も年々増加しております。全国各地の道の駅やパーキングエリアにはドックランを設置している施設が年々増加しております。設置が可能であれば更なる利用者の増加、

また、滞在時間の延長に繋がると考えます。平成23年12月議会での答弁で、様々な事情でハード事業整備は困難と答弁しておりましたが、道の駅富士川の敷地内にドックランを設置できないか当局の考えをお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。道の駅富士川へのドッグランの設置につきましては、敷地内の芝生広場が適していると考えられますけれども、芝生広場は、国土交通省の所有でありまして、河川防災ステーションとして位置づけられております。また、芝生広場以外では、敷地内の用地は限られていることから、ドッグランの整備は困難と考えられます。しかし、道の駅富士川と河川との一体的活用や相乗効果を図っていく上では、集客が見込まれるドッグランについて、整備の検討が必要であると考えております。以上のことから、ドッグランの整備が可能であるか、国土交通省との協議を行い、判断をして参りたいと考えております。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

隣接している芝生広場に設置が可能かということですので、答弁の中にもありましたが、集客が見込まれるドックランは必要と考えていらっしゃるということで、国交省との協議が前に進むよう願っております。また、設置が可能となった場合は管理などの調整も必要になると思いますが、前向きに検討していただきたいと思っております。

次の（3）の質問に移ります。道の駅北側に新しく駐車場ができると6月定例会で回答をいただきました。全国各地には恋人の聖地伝説が多くあり、これらを目的としてカップルが多く訪れております。道の駅には皆さんもご存じのとおり、隠れハートのタイルが何枚かあります。これももっと発信し恋人の聖地のような伝説になればと思っております。伝説は自然に出来るものではなく、誰かが言いだし発信し、それが広がって伝説になっていくものと思っております。6月の答弁の中で連絡橋を作ると聞きました。橋を作るのであればただの橋ではなく、例えばハートをモチーフにするなどデザイン性のある橋にさせていただき、現在すでにあるハートのタイルとコラボして新しい恋人の聖地の伝説を作れないでしょうか。事業主体は国交省だと思っておりますが、観光名所となるような橋にデザインできないか当局の考えをお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。国土交通省は、本年度新規事業といたしまして、道の駅富士川の北側の土地に駐車スペース増設や連絡橋の整備を行うこととしております。現在、国土交通省では、連絡橋の建設に向け、埋設物などを含めた調査中でありますので、今後、町との協議を進める中で、橋のデザインについても要望をして参りたいと考えております。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

今、調査中ということですので、ぜひ、国交省へ強く要望していただき進めていただきたいと思います。再質問ですけれども、デザイン性や機能性を備えれば多少の費用はかかると思います。しかし、そういった遊び心も集客には必要と思いますが町長の考えをお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

ただいまのご質問にお答えいたします。まさに道の駅ふじかわは、集客の拠点、町のランドマークであるというふうに思っております。そこに新しい連絡橋ができる、そこにしっかりとデザイン性、または隠れハートに関連したもの、もしくは、たとえば、鍵でカップルを繋ぐとか、そういったストーリー性を作っていく、集客をさらに高めていく、このアイデアは本当に採用していきたいなというふうに思っているところでございます。町の東の玄関口となる、ちょうどその入口になる橋になってくると思います。ぜひとも集客がさらに見込まれるように、費用対効果も考えながらですが、その予算がかかるという部分も確かにありますが、そのところをしっかりと議論を重ね検討をして町の玄関口にふさわしい橋にしていけたらというふうに思っているところであります。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

ぜひ前向きに検討していただきたいと思います。

それでは、質問事項3、横断歩道の安全対策についての質問に移ります。

全国的にも夕暮れや夜間に横断歩道上での事故が多発しております。当町でも先月、最勝寺地内の横断歩道で夕暮れの時間帯に事故がありました。私も運転をしますが夕暮れや夜間は歩行者が見えづらく、横断歩道を渡ろうとしている歩行者を見落としてしまう時もあります。安心安全に歩行でき運転手にもわか

りやすくなるよう全国的には、まだ数か所しか設置がありませんが、交通安全のモデル町になるよう横断歩道に人感センサー付きライトの設置ができないか当局の考えをお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

防災交通課長 大久保公生君。

○防災交通課長（大久保公生君）

ただいまのご質問にお答えいたします。横断歩道への人感センサー付きライトにつきましては、夜間や未明また夕暮れ時など、道路状況の確認が困難な時間帯に、運転者に対して歩行者の存在を知らせることができ、交通事故防止の効果が期待できます。また、センサーによる点灯で、無駄な電力の消費を抑えることができるため、環境にも配慮した運用ができます。この人感センサー付きライトは、県内でも、交通標識と合わせて設置された事例を確認しておりますが、いずれも県の公安委員会により設置、管理をされております。こうしたことから、県警等の実施した、交通事故多発地点調査や、通学路点検等の結果を参考に、町内の危険箇所について、県公安委員会や県警に対して、これらの設備を設置していただけるよう、働きかけて参りたいと考えております。以上となります。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

ぜひ、公安委員会や警察への働きかけをしていただきたいと思います。再質問ですけれども、公安委員会や警察への要望となると、実現までのハードルが高くなると思います。私のイメージは、交通標識につけるような本格的なものではなく、最近では家庭用でもソーラー型のセンサー付きライトも多種にわたり販売されております。個人で購入できるような簡易的なもので、電柱など横断歩道周辺の構造物などに、町でできる範囲で、設置することができないかお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

防災交通課長 大久保公生君。

○防災交通課長（大久保公生君）

ただ今のご質問にお答えいたします。横断歩道へのセンサー付きライトの設置につきましては、さまざまな条件がありますので、所轄の鯉沢警察署に相談して参りたいと考えております。以上であります。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

鯉沢警察署と相談していただき、交通通事故0の町になるよう知恵を出し合いながら前向きに検討していただきたいと思います。

今回の一般質問も、前回同様、富士川町の未来を語ろう活性化プロジェクトの参加者からの意見や町民の意見をもとに質問させていただきました。富士川町が少しでも発展し、活力ある富士川町をPRできるよう、次回からも提案型の質問をしていきたいと思います。この議場におられます皆さまと、また、町民の皆さまと共に、アイデアを出し合いながらこれからの富士川町をつくっていききたいと思います。最後に40数年間、多くの議論がされ、先人から多くの議員が一般質問を行ったこの場所での最後の一般質問となりました。最後という重み、また若干の寂しさを感じながら、私の一般質問を終わります。

○議長（堀内春美さん）

以上で通告10番 11番 鮫田洋平君の一般質問を終わります。

---